

いちき串木野市「i (あい)がいっぱいあいさつ運動」について(概要)

[趣旨]

本市の教育振興基本計画のスローガン『～「認め」「支え」「学び」とともに未来を創る人づくり～』を体現するための第一歩として、地域社会全体の絆を深め、温かく、思いやりに満ちたまちになることを目的とし、学校や家庭、地域をはじめ、企業や関係団体等、全市民の協力を得ながら、住む人が互いに尊敬と感謝の気持ちを持った「愛が溢れるコミュニティ」を築き、地域全体が未来に向けて成長する明るいまちづくりを目指す。

[取組対象]

学校、家庭、地域住民、事業所、関係団体、市役所など、地域に関わる全ての方々

[取組内容]

1. あいさつに関する標語・シンボルマークの募集と活用(R6)

i (あい)にあふれる明るいまちづくりの推進に向け、小・中学生を対象に標語・シンボルマークの募集を行う。

選ばれた作品は、のぼり旗やポスターにして、市内公共施設、庁舎、交流センター、小・中、高等学校などに掲示し、あいさつ運動に対する気運を高める。

2. 「あいさつの日」の設定と周知(R7～)

市民を巻き込んだ取組につなげるため、今後は毎月1日と20日の交通安全運動の日と同日にあいさつの日を設定し、交通安全活動と連携しながら普及啓発を図る。

3. 「あいさつ運動宣言団体」の募集(R7～)

積極的な実践を通じてあいさつ運動を広める企業・事業所を公募する。

- ・広報及び公式 LINE を活用し、宣言団体の募集を行う(7/7 号おしらせ版)
- ・申請した事業所を「あいさつ運動宣言団体」として登録する。
- ・活動に必要なポスターやのぼり旗、タスキなどを市から配付する。
- ・宣言団体の取組は、市の広報等で積極的に PR を行う。

※募集要領(案)は別紙のとおり

4. あいさつをテーマにした市民講座の開設(R7～)

市民を対象にした「あいさつ教室」等を生涯学習講座及び出前講座等に取り入れ、市民1人1人の主体的なあいさつが推進できるよう取り組む。

5. あいさつパートナーシップの構築(R7~)

市内事業者や関係団体が連携協力しながら、地域全体であいさつ文化を育む仕組みを構築する。

(連携団体等)

市内各学校(幼稚園)、まちづくり協議会、地域女性連、PTA、高齢者クラブ、子ども会、社会福祉協議会、スポーツ協会、文化協会、商工会議所、ロータリークラブ、防犯協会、交通安全協会、スポーツ少年団、あいさつ運動宣言団体 など

・生涯学習の取組の一環として位置づけ、生涯学習推進会議において、各団体等で、主体的に実施できる「あいさつ運動」を提案してもらう。

・団体等の連携による「あいさつ運動」の展開につなげる。

例) あいさつの日の啓発活動(交通安全の日を活用)における連携

・生涯学習大会では、「あいさつ」をテーマに先進的な取り組みを行った団体等の事例発表を計画。

[想定される事業効果]

1. 子どもの健全育成

あいさつを通じて、次世代に重要なマナーやコミュニケーションスキルを伝え、子どもたちが自然と健全な習慣を身につけることが期待できる。

2. 安全で安心なまちづくりの推進

顔見知りが増えることにより、不審な行動の発生を抑制し、地域の安全性向上や防犯に高い効果を発揮する。

3. 地域コミュニティの強化

あいさつを通じた信頼関係が、地域内のつながりを強め、学校、家庭、職場、地域コミュニティ全体における信頼を構築する。

4. ポジティブな生活環境の創出

あいさつの力によって、地域全体が笑顔に満ち、ポジティブなエネルギーが広がり、人々の毎日の生活に元気をもたらす。

5. 地域の魅力向上

あいさつが自然に交わされるまちは、居心地が良く、人々を引きつけ、外部から訪れる人々にとっても魅力的で、「行きたい」「住みたい」と感じさせる。地域全体のイメージアップに寄与するほか、地域活性化や経済効果、観光客の増加など、さまざまな波及効果をもたらす。